



全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	第6学年 外国語（9月） NEW HORIZON Elementary 6（東京書籍） Unit 4 Summer Vacations in the world 第1時（全8時）
②教科書を活用した授業づくりの工夫	岐阜大学教育学部附属小中学校 6年担任 葛西希美

「考えながら聞くことで、他者のことを知る楽しさを感じながら、
自分のことを「話せそう・話したい」という気持ちをもたせる導入の工夫

<p>① Teacher Talk</p> <p>児童がこの単元を通して、「こんなことができるようになりたい」という願いをもつことができるように出口の姿を示しました。また、最初から教科書を用いるのではなく、児童にとって身近な存在である教師の話をやり取りしながら聞くことは、児童の興味を引くだけでなく児童も自分自身のことを話したいという気持ちをもたせることにもつながると考えました。</p> <p>②自己課題の設定</p> <p>出口の姿を目指して、本時どんなことをできるようになりたいか、児童一人一人が課題を設定しました。</p> <p>③教科書の Starting Out を用いた聞くことの指導</p> <p>聞く前に絵や写真を見ながら児童と話をし、児童が内容を想像しながら無理なく聞けるような支援を行いました。聞いた後には、ペアや学級全体でどのような内容を話していたかを確認しました。仲間と交流した後に再度聞くことで、1回目よりも内容がよくわかったと児童が実感できるようにしました。2回目に聞いた後には、聞いたことについて自分のことを話す場面を通して、英語表現に慣れることができるようにしました。</p> <p>④自己の学びを評価する振り返り</p> <p>各単位時間の学びを自覚できるよう、自己の学びを振り返る時間を設けました。学習内容の定着には時間がかかります。また、児童によっても差があります。ですが、自分の今の学びやできるようになった理由を確かめつつ、次の課題を見出すことの繰り返しが、児童が学びを自覚し学習意欲をさらに向上させられると考えています。</p> <p>また、児童の記述からは、教師が十分見届けられなかった学習状況を把握することができます。そのことも踏まえて、次時の指導を改善しています。</p>	<p>Unit 4 では…</p> <p>今年度はコロナ禍という状況を踏まえ、単元の出口として「これからの週末を楽しく過ごすために、夏休みの過ごし方を伝え合い、取り入れよう」という活動を設定しました。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>I cooked gyoza at home. I ate it. It was so delicious. Do you like it? Can you make it? …</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: small;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>① 夏休みの過ごし方についてのやりとりの内容をつかもう。 夏休みの思い出を思い出しながさりりりの内容をつかもう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>② 夏休みの過ごし方についてのやりとりの内容をつかもう。 どんなことをしたのかをたずねるやく文章で聞けるようにしよう。</p> </div> </div> <p>1. <u>写真を見て話します。</u> What's this? Do you like ice cream? What flavor do you like? Did you eat it?</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>2. <u>1度聞いた後、確認をします。</u> S1: Department. Ice cream. S2: デパートでアイス食べたってことかな？</p> <p>3. <u>2度目聞いた後、そのことについて自分のことを話します。</u> T: What did you eat during summer vacation? S: Watermelon. T: Oh, you ate watermelons. S: I ate watermelon.</p> <div style="font-size: x-small;"> <p>◆単元の見通しをもつことができた。(◎・○・△)</p> <p>◆夏休みの過ごし方について、聞き取ることができた。(◎・○・△)</p> <p>夏休みの過ごし方について聞けなかったものもたずねて聞き取ることができた。今度からはもっと聞き取ることができよう。</p> <p>◆単元の見通しをもつことができた。(◎・○・△)</p> <p>◆夏休みの過ごし方について、聞き取ることができた。(◎・○・△)</p> <p>どんなことをしたのかI ate pizza.と聞き取ることができた。今度はもっと楽しく先生の文章で聞き取れるようになりたい。いろいろの言い方をたずねよう！</p> </div> <p>振り返りをもとに下段の児童に対し、次時の聞く活動後、聞き取ったことの価値付けと支援を行いました。</p>
---	---

外国語を身に付けるには、時間がかかります。何度も間違い、少し使わないとすぐに語句や表現、その使い方も忘れてしまいます。そのため、くじけてしまいそうになりますが、授業で指導者が、子供に身近な話題で何度も既習語句や表現を使いながらやり取りをすること、毎時間の目標に対して、自分はどうだったのかを振り返らせ、次時に何にどう取り組むのかを自己決定させるという丁寧な指導で、子供たちはぐんと力を付けていきます。外国語学習に早道はなく、葛西教諭の実践にあるような毎回の授業でのコツコツとした、丁寧な指導が大切です。(文科省 直山)